

# Weekly Report

2015～2016年度



平成28年4月12日(火)

第1807回例会

■ 会長 鴨志田 敏彦

■ 幹事 赤本 昌広

■ 会報 中村 和広

作者の言葉  
我が川崎百合丘ロータリークラブの活動は、地域に与える影響が大きい。この多岐にわたる活動の中心には、人々の絆と信頼がある。その絆と信頼を、活動を通じて深めたい。そして、その絆と信頼を、活動を通じて広げたい。それが、我が川崎百合丘ロータリークラブの活動の目的である。平成28年4月12日 中村 和広

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30  
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ  
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

## 第1807回例会記録 平成28年4月12日(火) 36/46回

<点鐘> 鴨志田会長  
<ソング> それでこそロータリー

<会長報告> 鴨志田会長

- RI日本事務局業務推進・資料室長より5月の「青少年奉仕月間」リソースの案内が来ております。
- kirara@アートしんゆり実行委員会より開催報告書が届いております。

<幹事報告> 赤本幹事

- \* 文書着 横浜あざみRC
- \* 会報着 新川崎RC
- ・新旧合同会長・幹事会のお知らせ  
5/11(水) 18:00～ ホテルKSP「銀杏の間」
- ・交換留学生、藤崎由佳さんの月例レポートが届いておりますのでお目通しください。

<ニコニコ委員会> 安藤志子委員

鴨志田会長→「職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、各委員長、地区研修協議報告よろしくお願ひします」。赤本幹事→「晴天ですが冷たい風が吹いています。風邪をひかないよう気をつけましょう」。大矢会員→「本当に多くの方々においでいただき三越での院展終わりました」。以下感謝をこめてニコニコへ。阿久澤会員、安藤美恵子会員、福家会員、畠山会員、井上勇会員、石野会員、石坂会員、勝田会員、北島会員、小島会員、小塚会員、中島健児会員、中島眞一会員、中村会員、親松会員、尾崎会員、坂井会員、嶋会員、白井会員、鈴木文夫会員、鈴木清会員、玉井会員、寺川会員、渡邊会員、結城会員、安藤志子会員。

<出席委員会> 渡邊委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1807回	42	32	10		76.19%
第1806回	42	32	10	4	85.71%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	29件	29,000円	1,006件	1,096,612円
財団	0件	0円	16件	230,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	120,000円
米山	0件	0円	31件	440,000円

### 本日のプログラム

<地区協議会報告>

■ 職業奉仕委員会 安藤美恵子会員

職業奉仕はロータリーの第2奉仕部門であり、ロータリアンがその職業上のあらゆる関係において、全ての人々に対して奉仕の理想を分かち与える責務のことを言います。またあらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を活かしていくことをロータリーが育成、支援することであり、職業奉仕の理想に本来込められているものを私なりにまとめますと

- ・職業奉仕はロータリーの根幹
- ・職業奉仕を簡潔にまとめたものが四つのテスト(1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深められるか 4.みんなのためになるかどうか)です。以上をよく学び更なる普及をし、会員の職業上の苦労話、専門家の話を聞き、事業所などの見学をして認識を深める事だと思いました。

第1809回	4月29日	移動例会(さつき例会)
第1810回	5月10日	会員卓話⑥
第1811回	5月17日	移動例会 家族感謝の日

■**青少年奉仕委員会** 次年度中島眞一委員長  
青少年奉仕の呼び名は国際ロータリーの「ユース・サービス」の和訳が由来です。この呼び名に対しての議論がされていますが、次年度も「青少年奉仕」という名称を継承するということです。

#### インターアクト

12才～18才対象で、学校、地域社会をベースに活動。当地区19のIACの内、残念ながら2クラブが廃部となるそうです。当クラブでは桐光学園IACを提唱しており、顧問の先生のもとで、あしなが募金や地域の清掃活動などの奉仕活動を展開しています。

#### ローターアクト

18才～30才対象で、奉仕活動や交流を通じて、社会にどう貢献するか、世界の問題についてどう関わり取り組むかを考えます。課題は年齢的にも若いので、ロータリアンの支援の必要性が大きく、また長く継続していくのが大変難しいということでした。

#### 青少年交換

国際理解と平和のための国際親善を推進する若者を育てるのが目的。当地区では8名の交換を行っています。問題点としては小さいクラブで受け入れる場合の資金不足や、ホストクラブのなり手不足など。次年度は当クラブでも受け入れも送り出しもありません。

#### RYLA

「ロータリー・ユース・リーダーシップ・アワーズ」クラブや地区が行う若者のリーダーシップ養成のためのプログラム。昨年度は禅寺での宿泊研修で、座禅の修行、講演、ディスカッションなどが行われました。当クラブでのRYLA委員会は設定されていませんが、地区にイベントを次年度企画するので参加の要請がありました。

■**社会奉仕委員会** 次年度渡邊委員長  
活動方針

1. 委員会の活動は、第1に地域のニーズに応えるため、ニーズを掘り起こすことから始め、金銭的な支援以上に会員が参加し、多くの地域の方々を巻き込む活動が望まれる。
2. 当地区に於いて、社会奉仕活動の89%が継続事業なので、マンネリ化していないか検討と見直しが必要と思われる。
3. 新規事業への挑戦し、日頃から地域社会を注意深く見て、新たなニーズを掘り起こす事が、達成感や生きがいを感じる要素の一つである。

#### 継続事業の考え方

地域社会との関連や認知度は高まっているが、限られた人の奉仕活動になってないか。奉仕事業は目的ではなく理念を持って行う事であり、予算も必要だが参加する事の重要性を知っていただき、またある程度の期限で計画実行すべきだと思う。

#### 第2590地区の社会奉仕事業

1. 総事業数 186件
2. 事業内容…地域環境・保全、各種募金活動、学校

関係、行政イベント参加、東日本震災関係、献血活動、防災活動、海外奉仕活動

3. 事業内訳 新規21件 11% 継続165件 89%  
傾向として数年前より継続事業が増えている。
4. 継続年数 1～3年…23件、4年以上…49件、10年以上…66件、年数不明…27件
5. 1クラブ事業数 0件…1クラブ、1～2件…22クラブ、3～4件…20クラブ、5件以上…15クラブ
6. 1事業平均参加人数 127人
7. 1事業地域参加人数 37.3人 認知度向上に貢献
8. 事業費用 0～5万円…71事業、5～10万円…36事業、10万円以上…34事業

#### プロバスクラブ

社会体験を経て第一線を退き一市民として生活するシニア世代を対象として、新たな交流と親睦を図り互いに協力し合い学びと自己研鑽に努め韌性や知識などを地域社会に役立てることでセカンドライフを充実させていく。ロータリークラブへの入会もある。

#### 奉仕の形

I SERVE…自己の責任と判断に於いて自分の職業を通して社会に奉仕する。私は奉仕する。

WE SERVE…個人ではなく全体で奉仕する。我々は奉仕する。

■**国際奉仕委員会** 次年度安藤亨委員長  
奉仕プロジェクト委員会

現在RIで検討されていて、四大奉仕を超越して立案実行し、会員全員参加が望ましく例会と同じ格付け。

#### 未来の夢計画

地区補助金3,000\$ グローバル補助金30,000\$

当クラブはラオスプロジェクトを次年度も申請し実行予定であります。

#### 戦略委員会

クラブの3年先、5年先を見据えて、クラブの歴史や状況を把握した上で、今後どういう方向に持っていくのかという事を考えていく委員会、中でも国際奉仕でやっていくのが効果的であるとの事です。

#### 他クラブの国際奉仕の状況

地区補助金を使っているのは58クラブの内7クラブ。ラオス、スリランカ、ネパール、ミャンマー、ニューカレドニア、カンボジア、タイ。

グローバル補助金は、地区では神奈川RCがスリランカの現地クラブとやり取りをしながら実行している例が紹介されました。

その他の国際奉仕活動として、フィリピンの高校生18名に毎年200\$の送金、バヌアツ共和国にマラリア対策で救急車2台贈呈、イスラエルパレスチナから高校生を日本に呼び一緒に過ごして、将来的にこの子どもたちが成長した時に戦争への考えかたが変わるのではないかという思考のもとで活動していると、3クラブの活動紹介がありました。

寄付金はポリオ50\$がありますので、どうぞよろしくお願いいたします。